



# 広報

# 下之郷

## No. 145

発行日 2024. 1. 15  
 編集 発行 郷づくり広報部会  
 発行責任者 下之郷区長

＝自然を愛し 人を愛する  
 豊かな心を 育てよう＝



### 目次:

新年のご挨拶 (区長・農業組合長)	1
長寿慶祝者紹介／老人クラブしめ縄作り	2
プラン13いもほり/子どもしめ飾りづくり/ひまわり会	3
第1回コミュニケーションスポーツ大会	4
区民の集い「多文化共生と他者理解」／ケヤキ伐採	5
5組花壇の植栽／人権よもやま話⑧	6
健康コラム／今月のクイズコーナー／懐かしの風景 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">67</span>	7

(12/10 しめ飾り作り)

### 私たちの下之郷

2023. 12月1日現在

*世帯数	246世帯
*人口	男 310人
	女 329人
	計 639人

# 新年のご挨拶

区長 藤堂 悦雄

新年明けましておめでとうございます。



区民皆様方におかれましては、「家族で新春をお迎えのことと思います。旧年中は、区の運営に格別のご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございました。心よりお礼を申し上げます。

さて令和五年は、大きな事件事故もなく穏やかな一年を終えることができました。これも区民の皆様のお陰かと思えます。

令和五年度は「コロナが五類になり、様々な事業がコロナ前に戻り実施されました。4月は神輿が出てのお祭り、天気が良く、久しぶりで新鮮に感じたのは私だけでしょうか。新しいシステムとして歴代の区長様のご苦労で地縁団体の手続きが完了して、その

報告が無事できました。五月や七月の除草作業はマスクをしてない人が多かったです。これが本来の姿かなと思えました。十月は運動会に代わり、自由参加の「コミュニケーション事業、晴天の中で実施できました。十一月は対話集会の実施。組長会議でもマスクなしの方が多かったです。「コロナ前の生活に徐々に戻ってきています。小学生の登校風景をみても、マスクをしていない生徒が当たり前になっていきます。しかし、さまざまな事業がそのまま以前の状態に戻るのではなく、今の時代に合った内容に徐々に変遷しています。また、皆様の顔の表情が見られるのが本来の姿かなと思います。

話は変わりますが、先月子どもたちが「しめ縄」作りをしましたが、この「しめ縄」には神様に「ごは神様をお迎えるのにふさわしい神聖な場所です」ということを示しています。この

しめ縄に縁起物などの飾りを付けたものが「しめ飾り」です。「年神様」をお迎えし、その年の豊作や家々に幸運を授けてくださるといわれています。また、年末には子どもたちが餅つきをして「鏡餅」を作りましたが、「この「鏡餅」は古くから「魂が宿る」とされてきた「鏡」を模した丸いお餅に、神様の魂が宿るといわれています。飾るだけでなく「食べる」ことにも意味があります。神様の魂が宿るとされる縁起物なので、家族や大切な人といただけかもしれませんが、ちなみ

にこのような正月飾りは、「どんど焼き」や「お焚き上げ」で燃やして供養することができま

す。或いは「古札納所」に入れることもできます。このような意味合いのお正月飾り。ぜひ、子どもたちにも知って頂き、後世に残していけたらと思います。

最後になりますが、令和六年も始まりました。区民皆様方におかれましては、今年一年「ご家族の皆さんとともに、健康で良い年となりますように」ご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

農業組合長

宿谷 安弘



新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

4月の就任挨拶において、是非お力添えをとお願ひし、心と心を合わせて進めるよう努めて参りました。

まずは「つつして無事に新しい年を迎えること」が出来ましたことに感謝し、皆様に心からお礼を申し上げます。

さて、農業は特に厳しい環境に置かれていると常々言われており、さらに後継者不足の厳しさが益々増しており、置かれている環境を直視し、その置かれた環境を様々な角度から熟知、熟議を重ね、如何に下之郷に適した策を優位に進め「熟慮断行」していくことが求められていると思慮されます。

「下之郷がより良い農村集落として維持、発展していくため、下之郷に根付く精神文化を大切にしつつ創意工夫を凝らし、集落の農地は集落でしっかり守っていくべく、心をひとつにして共に磨きをかけていくことが大切と考えております。

「この小さな芽もやがて太い幹に、安定した農村集落が持続可能となるよう育っていくものと

確信しております。そのためには、集落の農地は集落が守り抜く思いと、人と人の絆をより一層深め下之郷の心、知力、活力を総結集していくことが重要なことと思っております。

今年も気を緩めることなく、常に柔軟な攻めの姿勢を忘れずに取り組んで参りたいと思

います。

今一度、更なる「理解とご協力をお願い申し上げます。皆様にとって幸多き年になりますことを心から御祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

今年もどうぞよろしくお願ひします。





# プラン13 いもほり



10月28日(日)、分館プラン13企画によるさつまいも掘りが行われました。昨夏は異常な暑さのため、生育がやや不良でしたが、掘ってみると意外にたくさんのもが取れ、子どもたちも満足そうでした。

# 子どもしめ飾り作り



12月10日(日)、恒例のしめ飾り作りを行いました。西堀治男さんの指導のもと、年々作るのが上手になっています。



# 第1回コミュニケーションスポーツ大会

運動会に代わる新しいイベント「コミュニケーションスポーツ大会」を分館が企画し、10月22日(日)開催されました。たくさんの区民が参加し、楽しい半日を過ごすことができました。

全員でストレッチ



競技風景



第一部モルックの競技説明



モルックゲームの間、半分のグループはウォークラリーで、桂城神社・ちびっこ広場・区駐車場を回りながらクイズ・ワンパットゴルフ。そして最後に表彰式がありました。  
全員参加の区民運動会から自由参加のイベントに変わりましたが、幼児から年配者まで多数の区民が集まったのは大きな成果でした。  
少子高齢化が進む中での新たな「コミュニケーション」の場として今後も継続発展していくことを願います。



# 「多文化共生と他者理解」

## 「ルーツを訪ねる旅」



11月25日(日)、コロナが  
終息したことから、一堂に会  
しての区民の集いが開かれ



ました。

講師は副区長の辻幸男氏。  
遠い昔の祖先はどこから来  
たのか、私たちのルーツはど  
こにあるのかということを経  
史上の史実からお話しいた  
だきました。  
次のような内容でした。

### ◎ 私たちの祖先は朝鮮半島 からやってきた



豊郷町安食西にある阿自岐  
神社。そこに祀られている阿  
自岐氏は、かなり高貴な百濟  
系の渡来人で、日本に漢字を  
伝えた王仁氏を招いたとい  
われています。神社の庭園は  
日本最古の一つともいえる  
そうです。

私たちのすぐ隣に日本文化  
の基礎を作ったすごい渡来人  
がいたのです。



西明寺の創建は平安時代  
とされていますが、数年前  
本堂の柱に飛鳥時代の様式  
で描かれた佛画が発見され  
ました。さらに、本堂の中心  
部分は「高麗尺」という、朝鮮  
の測量単位で作られているこ  
とが明らかになりました。  
これらのことから、西明寺  
の創建は日本最古の木造建  
築と言われている法隆寺の  
時代まで遡るのではないか  
とする研究者がいます。  
西明寺は法隆寺と並び日  
本最古の木造建築であり、つ  
くつたのは渡来人だったと想  
像すると、とてもワクワクし  
てきます。

## 採伐キヤケ

区駐車場にあった2本の大きなケヤキの木。秋になると落ち葉で近隣の方々が困っておられるということで、10月11日伐採されました。これも致し方ないことです。せめても記録にとどめておきます。



天智天皇が大津に都を定  
めた時、日本と同盟関係に  
あつた百濟が唐新羅連合軍  
に敗れ、多数日本に逃れてき  
て近江の地に住み着いたと  
いうこともありましたが、その  
渡来人たちが湖東平野の開  
発に関わったとされています。  
か。

く、生活・文化もまた朝鮮と  
のつながり無しには考えら  
れないのです。  
今、朝鮮半島と日本の関係  
は必ずしも良好とはいえま  
せんが、ルーツをたどってみ  
ることで、共生の未来が見え  
てくるのではないでしょ  
うか。  
(他にもたくさんお話し  
いただいたのですが、割愛させ  
ていただきました。)

# 5組花壇の植栽



組花壇の維持ができなくなり、ほとんどの組が花壇を撤去する中、5組の皆さんは、できる限り維持してまいります。11月19日(日)、花壇を整備し、ヒオラの花苗を植えました。

今後も、無理なく続けてくださることを期待します。

## 人権よもやま話④8

### 『全国研究集会』

あけましておめでとございませう。いつも『よもやま話』にお付き言いだきありがとうございます。コロナは少し落ち着きを見せてきているものの、中国・韓国ではあらたに新型の肺炎が流行しつつあるとか…。今後は、こちらにも注意が必要ですね。

さて、去る11月14日・15日の二日間、和歌山市で開催された『部落解放研究第56回全国集会』に甲良町から役員職員さんたちと4人で参加してきました。全国から、各界各層の300人が和歌山県民文化館に集まり、初日は全体会、二日目は午前・午後と終日分科会が開催され、部落差別をはじめとするあらゆる人権問題についての研究成果の発表であったり、現在の課題についての発表がありました。コロナの前は、6,000人規模の3日間開催されていましたが、2年間の中止の後、一昨年から規模を縮小して再開されていますが、一昨年は都合で出席できませんでした。昨年は皆さんへの

話題提供になればとの思いから、頑張ってお勉強してきました。

初日の全体会では、神田香織(講談師)さんの講談『はだしのゲン』を聞かせていただきました。特に原爆のシーンでは、鬼気迫る語りでそのむごい様子について演じられ、聞くのもおぞましいといった迫真の講談を聞かせていただき、戦争で核を用いることがいかに非情であるか、また戦争をすること自体がいかに無意味であるかをあらためて感じさせられました。

いま、ウクライナや中東では実際に戦争が起こっていて、テレビでは毎日のように被災した子供や女性が泣き叫ぶ映像を目にしますが、私には一日も早い和解、いやまずは停戦を願うことしかできません。そして、最近日本周りも何となくキナ臭い。大阪にいる次男には一人の男の子孫(が)いますが、併せて今後この子たちがいかなる形にせよ、戦争と関わることを無いように祈るばかりです。

言う間だったような気がしています。ドラマの話ですが、大阪冬の陣で家康がこんな話をしていました。大阪城に大筒を打ちかけるよう命じ弾が発射されると、城内にいる娘千姫を助けた一心でそれを止めようとする秀忠に、「これが戦じゃ、この世で最も愚かで、醜い人の所業じゃ。」と言い放ちます。

人の命を奪うことは罪になります。しかし、ひとたび戦争となるとそれが一転してヒーローになります、何か矛盾していますね。そして、その戦争に肯定的な意見の人も有るかと思いますが、戦争こそ最大の人権侵害とも言われます。皆さんにも、今一度『戦争』について考えていただける時間になればと思いい書かせていただきました。

夏から一気に冬が来て、冒頭にも書きましたがわけのわからない病気が流行りつつあるこの事。どうぞご自愛いただき、日々健康にお過ごしいただきますように祈念申し上げます。

(町人推協会長 藤居桂三記)

### 今月のクイズコーナー

常  
関  続  
動

□に入る漢字は何？

### 「下之郷検定③4」

昔、下之郷に住んでいた人の名  
字です。一つだけ無かったもの  
があります。どれでしょう？

青木 井上 今井 岩田  
沖尾 本車 戸中 野  
堀川 毛利

### 前回のクイズの答

暗黙・黙祷・黙認・沈黙  
で「黙」  
桂城神社神主「杉本安  
貞」のお墓で、正解は③

### 正解者

古川 きさ さん  
辻 好子 さん  
木村 和 さん

## 健康コラム

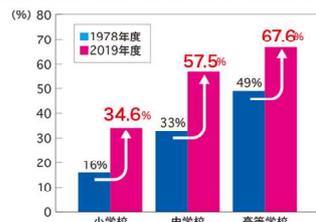


◎子どもたちの視力が低下し続けている

今や、子どもたちの必需品は、ゲーム機・スマホ・タブレットといった電子機器ばかりになってしまいました。小さな画面を食い入る様に眺め続けている生活の中で子どもたちの視力は悪くなる一方です。

昭和30年代、小学校高学年のクラスで眼鏡をか

### 裸眼視力1.0未満のこどもの割合



データ：文部科学省 学校保健統計調査

けている子は1人か2人でした。それが今や4人に1人の割合で眼鏡を使用している状況なのです。

視力低下を防ぐ一番簡単な確実な方法は「外で遊ぶこと」だそうです。やっぱり子どもは風の子ですね。

### 外遊びは近視を減らす

屋外活動時間が長いと、近視になるリスクが低くなることが報告されています。

理想は1日2時間以上。外へ出て太陽の光を浴びましょう。日かげでも大丈夫です。



## 懐かしの風景 67 干し場

(昭和35年頃)

モミを干すために株を短く刈り込んだ「干し場」。後ろの草むらは「ちょう川」。今は防災道路が通っています。遠景は法養寺。懐かしい田園風景です。



### 編集後記

ロシアのウクライナ侵攻が続く中、昨年11月には新たにイスラエルとハマスの戦争が勃発。世界の平和が揺らぎだしています。いずれ日本も無関係ではいられない状況になってくるのではないかと不安です。

正しい進路を歩む日本でありませう。

